

土砂崩れのため、昨年5月から通行止めになっていた東川町の天人峡温泉街から「羽衣の滝」への散策路。この滝は全道一の落差（270㍎）を誇る観光スポットとして知られるが、観光客が遠のいている現状を改善しようと上川総合振興局の委託を受け、東川町の体験型観光企画会社「アグリテック」などが実施しているのが「天人峡



天人峡魅力発信プロジェクトの一環 アグリテックが紅葉ガイドウォーク



天人峡の「滝見台」に到達して紅茶で乾杯する参加者たち

散策コースを参加者に案内。ガイドの一人、黒川明輝さん(25)は「ここは四季がはっきりしており、楽しみ方もたくさん」とセールストーク。11日に参加した旭川市の栗原美苗さん(53)は「結構急なコースで大変だったが、下からしか見たことがなかったので違う角度から滝が見え、紅葉のいい時期に来てよかった」と満足した様子だった。

滝見台からは羽衣の滝ほか、全道一の高さをもつ旭岳(2291㍎)も見渡せることから「2つの北海道一を堪能できるコース」を売りにしていたのも、このツアーならではの特徴だった。

魅力発信プロジェクト」だ。その一環として10月11日から3日間行われたモニター体験ツアー「天人峡滝見台・紅葉ガイドウォーク」では、同社の2人のガイドが羽衣の滝を眺望できる「滝見台」まで1・5㍎の

途中、セールストークを交えながらガイドするアグリテックの石川良太さん(左)